

5月例会「緑風・春の虫おもしろ探検」報告書

- とき 令和6年5月26日（日） 午前10時～正午
- ところ 立田山憩の森 お祭り広場（集合・解散）
- コース お祭り広場／トンボ池周辺
- 指導員 清田、中間、益田、倉光、佐藤、田邊、藤井(由)、藤井(景)、寺崎昭典さん(特別協力)
- 参加者 21家族、56名
- 観察種 （昆虫35種）ウチワヤンマ、オオアオイトトンボ、ショウジョウトンボ、ハラビロトンボ、フタスジサナエ、カラスアゲハ、ツマグロヒョウモン、ヒメジャノメ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ツバメシジミ、ベニシジミ、ヒトリガ(幼虫)、シャクガ(幼虫)、ガの仲間(幼虫)、ミツバチ、キアシナガバチ、アシナガバチの仲間、チュウレンジハバチ、シオヤアブ、ジガバチの仲間、マガリケムシヒキ、エンマコオロギ、クビキリギス、トノサマバッタ、トノサマバッタ(幼虫)、ハネナガイナゴ(幼虫)、ヒシバッタ(幼虫)、タマムシの仲間、クチキムシ、コイチャコガネ、セアカヒラタゴミムシ、マダラガガンボ、モリチャバネゴキブリ、ヨコツナサシガメ(危険)、ハゴロモの仲間、
（その他）ニホンアカガエル、アメリカザリガニ(条件付特定外来生物)、アカミミガメ(条件付特定外来生物)、ササグモ、カヤネズミ(巣)



4月例会は雨で中止になり今年度初めての探検隊は、お天気に恵まれ、虫あみや虫かごを持った子ども達でいっぱいです。始まりの会が終わると早速子ども達は歓声を上げ、虫あみを振りまわして虫取りに熱中。見事に捕獲したら「捕まえました。これは何？」と指導員に名前を覚えてもらい、また虫探しに出かけます。机の上の虫はどんどん増えてあつという間に35種類になりました。

豊かな自然に恵まれ多種多様の虫が棲息する立田山をいついつまでも大切にしましょう。